## まごころだより

2020年 7月号

コロナウイルス感染症における非常事態宣言が解除されて一月ほどたちました。人の移動は徐々に増えてきたようですが、お店は依然として密を避ける体制を維持しています。お客様を対象にしているお店としては当然の事と思います。問われるのは公設施設・商業施設を利用する人の危機意識の度合いになると思います。外出を制限されて生活のリズムを崩され、収入を突然奪われるような事態になるとは誰が想像したでしょうか。見えない敵に恐怖心だけが大きく膨らみ、感染した人や医療従事者の方には差別や偏見にさらされる。どこかで発生するとそれを真似るがごとく、同じ行為をする人。ウイルスと変わらない恐ろしい感染症だと思います。社会の全てに大きな打撃を及ぼしたコロナウイルスは未だに収束する事無く脅



威を広げています。緊急事態宣言が解除されましたが、もう大丈夫ですよと発せられた解除ではではないことは分かっているはずです。まだ治療薬が開発されていないことを心にとどめて、拡散させてはいけないのだと責任を持った行動すべきだと思います。

緊急事態宣言が解かれて、少しずつ活 気を取り戻す流れになきた利用者の方 ちも自粛をお願いしてきた利用者の方にも ちに、今まで通りボランティアの方によ る歌や踊りなどのお楽しみ会を行いたよ る歌やはます。しかし、まだコロ時に と考えが身近に居る事を思うと、悩んで れよずるかの対 います。今しばらく情勢を見て予定 でたいと思います。

ところで、6月28日に3月より延期して いました「こども食堂」を少し内容を変 えて開きました。本来は手元で調理した ものをその場で食べて頂きたかったので すが、密を避けるために持ち帰ってもら うことにしました。また、工作や読み聞 かせもさせて頂きました。当日、来て頂 いた子供達はとても楽しんでくれたよう です。印象に残ったのは、どの子供達も とてもいい笑顔だったことです。近隣よ り親子で参加して下さった方から「自粛 になってから、まったく外に出ていなかっ たんです。今日はとても楽しいです。 と笑顔でお話をされておられました。 供達にとっては、家庭での自粛は心身共 に窮屈で我慢しがたい期間だったでしょ う。それに親御さんにしても心配で不安 な期間だったと思います。



やはり子供は自由でのびのびしていた方が子供らしく、微笑ましくていいですね。「こども食堂」は、高齢者福祉施設や教育機関、医療機関で働いている職員が協力して、ボランティアで活動しています。まごころとしても地域の方のご理解を得ながらバックアップしていきたいと思います。





こんにちわ、 よくきてくれたね



わたし、ひとりでできるもん



釣れた~! ?・・・貝?



これで準備はOK!